



エコー検査で膵臓に水疱(嚢胞)があると
言われました。体に異常はありません。どん
な病気なのでしょうか。どういう検査をすれ
ば良いのでしょうか。どんなことに気を付ける
べきなのでしょうか。アドバイスを願いま
す。(77歳、男性)

膵嚢胞

瘍(MCN)▽漿液性嚢胞
腫瘍(SCN)▽充実性偽乳
頭状腫瘍(SPN)▽膵癌に
伴う貯留嚢胞▽特殊型膵癌に
伴う壊死性嚢胞▽膵神経内分
泌腫瘍に伴う嚢胞変性▽膵リ
ンパ上皮嚢胞などがありま
す。特徴が異なるため、造影
CT、磁気共鳴胆管膵管撮影

中核病院で精密検査を

研究が行われています。膵嚢
胞は早期発見の契機の一つと
され、膵嚢胞を認めた人は、
認めない人と比べて膵癌リス
クが3〜22・5倍とする研究
があります。
広島県尾道市で、膵嚢胞や
膵管拡張などの所見を腹部エ
コー検査で見つけ、中核病院

遭遇するのはIPMNであ
り、膵癌のリスク因子の一つ
とされており、定期的な経過
観察の重要性が強調されてい
ます。
以上のように、膵嚢胞があ
る場合には、早急に治療を要
する疾患か、経過観察でよい
疾患かを慎重に区別する必要

嚢胞とは液体で満たされた
袋状の塊で、膵臓内にできた
嚢胞を膵嚢胞と呼びます。膵
臓に発生する嚢胞性病変は多
岐にわたり、多くは無症状で
す。
代表的なものとして単純性
嚢胞▽膵管内乳頭粘液性腫瘍
(IPMN)▽粘液性嚢胞腫

(MRCP)、超音波内視鏡
(EUS)などによる精密検
査を行うことが次のステッ
プとなります。
これらの中で最も命にかか
わる疾患は、膵癌に伴う嚢胞
です。膵癌は数ある悪性腫瘍
の中でも5年生存率が最も低
く、早期発見のために多くの

と連携して精密検査を行った
結果、膵癌の早期発見が可能
で、5年生存率が通常の3倍
程度の20%に改善したとい
う結果が報告されました。現在
では、日本各地で同様のプロ
ジェクトによる検証が行われ
ています。
また、日常診療で最も多く

があり、地域の中核病院の消
化器内科において造影CT、
MRCP、EUSなどを検討
していただくことを勧めま
す。
(兵庫県内科医会、平田祐一
||加古川市、加古川中央市民
病院)
◇第1、3、4日曜に掲載
します。